

児童・生徒・保護者用

団体受検案内

学習塾向け

350人突破!

累計受検者数



# 数学検定 算数検定

検定日記入欄

〈必ず担当の先生に確認して記入してください。〉

検定日 7月13日(土)  
(実施階級: 準7級~11級)

申込締切日 6月12日(水)

※同一の受検者が、同一の検定日に同一の階級や複数の階級を受検することはできません(これらのことが判明した場合いずれも無効になります)。

※申し込み後の変更や、一旦納入した検定料の返金・繰り越しなどは理由の如何によらずできません。

## 数学検定を、進学に活用! 試そう、自分の数学力。



携帯サイトはこちらからアクセス!

### 財団法人 日本数学検定協会

【本部】〒110-0005 東京都台東区上野5-1-1 文昌堂ビル6階  
【受付・流通センター】〒125-8602 東京都葛飾区東金町6-6-5 三井生命金町ビル4階  
平成23年8月に、上記へ移転しました。

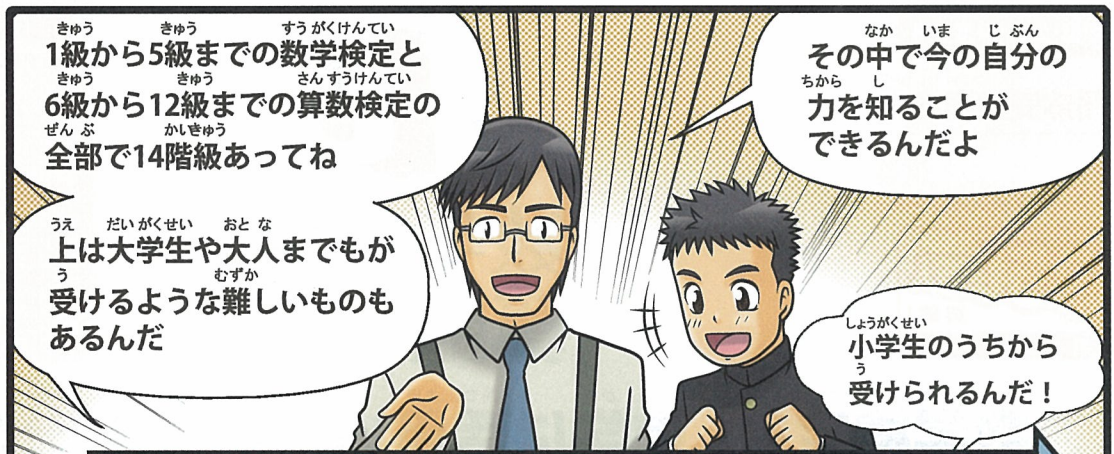
TEL: 03-5660-4804 / FAX: 03-5660-5775

〈電話お問い合わせ時間〉月~金 9:30~17:00 (祝日・年末年始・当財団の休業期間を除く)  
※申し込み締め切り日は9:30~17:30

<http://www.su-gaku.net/>



Ver.2013-03.01



	12級	11級	10級	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	準2級	2級	準1級	1級
	小学生						中学生			高校生			大学一般	
小学校入学前	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生		
	算数検定						数学検定			実用数学技能検定				



**入試優遇** 高等専門学校・高等学校・中学校全国 **470** 校以上!  
 大学・短大・専門学校 全国 **360** 校以上!

**単位認定** 大学・高等専門学校・高等学校 全国 **240** 校以上!  
 (2012年11月現在・当財団調べ)

**やってみよう! 過去問題!**

※問題によっては計算の途中の式などを書く必要があります。

**▶ 準1級: 1次**

楕円  $\frac{x^2}{3} + \frac{y^2}{4} = 1$  の2つの焦点間の距離を求めなさい。

**▶ 2級: 2次**

$a, b, c$  を  $1 \leq a < b < c$  を満たす整数とします。これらからつくる  $a, b, c, a+b, b+c, c+a, a+b+c$  の7個の数を7で割った余りが、すべて相異なるように  $a, b, c$  を定めることができます。このとき、次の問いに答えなさい。

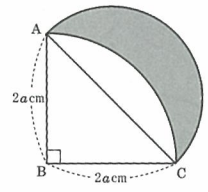
- (注) あまりを考えるとき、たとえば「 $1 \div 7$ 」などの場合は「 $1 \div 7 = 0$ あまり1」となります。
- 上記のように7個の数を定めるとき、7個の数のうち7で割り切れるのはどれですか。
  - 上記のような  $a, b, c$  の組を1組答えなさい。この問題は解法の過程を記述せずに答えだけでかまいません。

**▶ 準2級: 1次**

3つのさいころA, B, Cを同時に振るとき、出る目の数の和が6になる場合は何通りありますか。

**▶ 3級: 2次**

右の図のように、半径  $2a$  cm、中心角  $90^\circ$  のおうぎ形BCAの点AとCを線分で結び、ACを直径とする半円をかきます。このとき、次の問いに単位をつけて答えなさい。ただし、円周率を  $\pi$  とします。



- 半円の直径ACの長さは何cmですか。
- ACを直径とする半円の面積は何cm<sup>2</sup>ですか。
- 図の色を塗った部分の面積は何cm<sup>2</sup>ですか。



各階級の案内と受験申込書はウラ面へ!

きりとり線

文部科学省が行う「高等学校卒業程度認定試験」(旧「大検」)の必須科目「数学」の試験免除を受けることができるのは、当財団が実施する実用数学技能検定の2級以上に合格した場合のみです。

中学生・高校生の間しっかりと数学力を身に付けておくと、将来にわたって役立てることができます(企業の採用資料として広く活用されている「SPI 試験の非言語分野」と実用数学技能検定の出題範囲は3級では53%、準2級では74%が共通しています)。

<p>▶ 5級：1次</p> <p>次の計算をしなさい。</p> <p>(1) <math>1\frac{4}{5} \div \frac{3}{10}</math>    (2) <math>(-3) + (-5) - (-12)</math></p> <p>▶ 6級</p> <p>1. 2つの箱A, Bがあります。Aの箱の中には75個のクリップが入っていて、Bの箱の中には60個のクリップが入っています。このとき、次の問いに答えましょう。</p> <p>(1) Aの箱とBの箱の中のクリップの数の比を、もっとも簡単な整数の比で表しましょう。</p> <p>(2) Bの箱からAの箱へ何個かクリップを移したところ、Aの箱とBの箱の中のクリップの数の比が2:1になりました。このとき、Bの箱からAの箱へ何個のクリップを移しましたか。この問題は、計算の途中の式と答えを書きましょう。</p>	<p>▶ 8級</p> <p>1. 次の計算をしましょう。</p> <p>(1) <math>53 \times 18</math>    (2) <math>48 \times 11 \div (13 + 9)</math></p> <p>2. 右の図のように、9つのマス目があり、マス目の中に数を1つずつ入れていきます。たて・横・なめにならぶ3つのマス目の数の合計がすべて等しくなるように数を入れるとき、次の問いに小数で答えましょう。</p> <p>(1) ⑦にあてはまる数を答えましょう。</p> <p>(2) ④にあてはまる数を答えましょう。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>5.6</td> <td>④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>3.5</td> <td>6.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> </tr> </table>	5.6	④		⑦	3.5	6.3			1.4
5.6	④									
⑦	3.5	6.3								
		1.4								
<p>▶ 10級</p> <p>1. 四角形について、答えましょう。</p> <p>(1) 四角形は、何本の直線でかこまれた形ですか。</p> <p>(2) 右の図で、四角形でないものは①, ②, ③, ④の中のどれでしょう。</p>										

# 各階級の概要

1～5級には、「1次：計算技能検定」と「2次：数理技能検定」があり、最初に受検するときは1次・2次ともに受検します。また、1次も2次も同日に行います。6～12級には1次・2次の区分はありません。同一検定日に同一の階級や複数の階級を受検することはできません。

実用数学技能検定の階級	数学検定							算数検定						
	1級 <small>※団体受検ができません</small>	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級	12級
目安となる程度	大学程度・一般	高校3年生程度 (数学Ⅲ・数学C程度)	高校2年生程度 (数学Ⅱ・数学B程度)	高校1年生程度 (数学Ⅰ・数学A程度)	中学3年生程度	中学2年生程度	中学1年生程度	小学6年生程度	小学5年生程度	小学4年生程度	小学3年生程度	小学2年生程度	小学1年生程度	未就学児童 (くり上がり・くり下がりのないたし算・ひき算を含む)
出題数	1次：7問 2次：2題必須・5題より2題選択		1次：15問 2次：2題必須・5題より3題選択	1次：15問 2次：10問	1次：30問 2次：20問		1次／2次の区分はありません。							
合格基準	1次：全問題の70%程度 2次：全問題の60%程度							全問題の70%程度						
検定時間	1次：60分 2次：120分		1次：60分 2次：90分		1次：60分 2次：60分		50分		40分					
検定料	5,000円	4,500円	4,000円	3,500円	3,000円	2,500円		2,000円		1,500円				

※詳しい出題内容については、担当の先生にお尋ねください。※1級は団体受検ができません。※検定日より実施される階級が異なりますので事前にご確認ください。(平成23年4月検定から改定)

## 当日の持ち物

階級によって持ち物が異なります。

階級	準1～5級	6～8級	9～11級	12級
筆記用具	必須	必須	必須	必須
ものさし(定規)	2次検定のみ必須	必須	必須	
コンパス	2次検定のみ必須	必須		
分度器	2次検定のみ必須	必須		
電卓(算盤)	2次検定のみ持参してもよい			
合格証のコピー(免除等申請該当者のみ必須)	今回受検する階級の1次または2次検定を免除して受検する受検者	今回、1,000円引きを適用して受検する受検者		

## 検定の免除等申請について

- 平成9年度以降に実用数学技能検定準1～5級の1次または2次検定どちらかに合格した場合は、同じ階級を受検する際に1次または2次検定の免除を申請することができます。1次または2次検定の免除を申請するには該当の「合格証」のコピーが必要です。
- 検定料の1,000円引き適用について  
以下に該当する受検者は、検定料の1,000円引きが適用されます。この適用を受けるためには、該当の合格証(1次または2次検定、児童数検)のコピーが必要です。  
I すでに実用数学技能検定準1～5級の1次：計算技能検定または2次：数理技能検定に合格している方が、同じ階級の2次または1次のみを受検する場合。  
II-a 平成23年3月検定までの実用数学技能検定6～8級の1次または2次検定のみ合格して、平成23年4月検定以降に同じ階級を受検する場合。  
II-b 平成23年3月検定までの児童数検の1級+児童数検2～6級のうち2階級に合格して、実用数学技能検定6級を受検する場合。  
II-c 平成23年3月検定までの児童数検の2級+児童数検3～6級のうち2階級に合格して、実用数学技能検定7級を受検する場合。  
※II-a、b、cの1,000円引き適用期間は平成26年3月検定までです。

2次：数理技能検定で使用できる電卓の種類 ○一般的な電卓 ○関数電卓 ○グラフ電卓  
※通信機能や印刷機能をもつ電卓は使用できません。また、携帯電話・電子辞書・パソコン等の電卓機能も使用できません。

### 受検希望者は右の<注意事項>に同意のうえ「受検申込書」にご記入ください

- 「受検申込書」に記入のうえ、検定料とともに担当の先生に提出してください。
- この申込書は、コピーしたものでもご使用になれます。

#### <注意事項>

- 受検者ご本人の個人情報の受領、検定結果の通知など検定に関するやり取りは、すべてお申し込み団体を經由して行います。●受領した情報は検定にかかわる業務にのみ利用いたします。また、この利用目的の範囲内において業務提携会社に作業を委託する場合があります。●当財団の「個人情報保護方針」はホームページに掲載しております。
- 免除等の申請をする受検者は、検定終了後に「合格証のコピー」を解答用紙と一緒に提出する必要があります。合格証のコピーの提出のない場合は免除や割引の対象になりません。●受検申込書に書かれた氏名と生年月日が合格証に印字されます。●英語版での受検は、平成25年7月21日検定と11月2日検定の準1～8級のみとなります。●同一受検者が、同一の検定日に同一の階級や複数の階級を受検することはできません(これらのことが判明した場合は無効になります)。
- 申し込み後の変更や、一旦納入した検定料の返金・繰り越しなどは理由の如何によらずできません。●個人情報保護管理者の職名、所属及び連絡先/管理者職名：個人情報保護管理者、所属部署：事務局、連絡先：03-5812-8340

きりとり線

# 数学検定 算数検定

(団体受検専用)

受検申込書 (以下の個人情報は、合格者の本人確認など、個人情報保護方針に基づき適正に管理し、取り扱いします。) (※)は必須項目

ふりがな	生年月日		性別
姓(※)	名(※)	西暦(※)	男 女
〒 □□□□ □□□□ □□□□		都道府県	電話番号(※) ( ) -
都道府県以下の住所			
検定日(※)	月 日 検定	受検団体名(※)	
小・中・高・高专・短大 大・院・その他( )	学年 年	クラス 組	受検階級(※) 実用数学技能検定 級を受検する

#### (※)免除等申請(該当する受検者のみ)

- I 実用数学技能検定準1～5級を受検する方で、下記のいずれか1つに該当する場合にチェックをつけてください。  
□すでに今回受検する階級の2次検定に合格しているため、1次検定のみ受検する(I-a)。  
□すでに今回受検する階級の1次検定に合格しているため、2次検定のみ受検する(I-b)。
- II 実用数学技能検定6～8級を受検する方で、下記のいずれか1つに該当する場合にチェックをつけてください。  
□平成23年3月検定までに今回受検する階級の1次または2次検定に合格しているため、検定料の1,000円引きを適用して受検する(II-a)。  
□平成23年3月検定までに児童数検の1級+児童数検2～6級のうち2階級に合格しているため、6級の検定料の1,000円引きを適用して受検する(II-b)。  
□平成23年3月検定までに児童数検の2級+児童数検3～6級のうち2階級に合格しているため、7級の検定料の1,000円引きを適用して受検する(II-c)。

### 実用数学技能検定 受検団体 担当者控え

検定日	月	日	検定
氏名			
学年・クラス		年	組
受検階級 級			
※該当者のみいずれかを○で囲んでください。			
1次検定のみ I-a 該当者		2次検定のみ I-b 該当者	
II-a 該当者		II-b 該当者	
		II-c 該当者	

※下の領収証は、受検者から検定料を徴収する際にご利用ください。

### 実用数学技能検定 領収証

氏名	
受検階級	検定料
級	円

#### 領収印

※実用数学技能検定受検料として上記金額を領収しました。

- 申し込み後の変更や、一旦納入した検定料の返金・繰り越しなどは理由の如何によらずできません。